

ミニデイサービス便り

No.11

6月6日(木)晴れ 利用者さん・8名(男2女6)

お昼休み・寝転んでのおしゃべりはまるで修学旅行

デイサービスに慣れてこられたのか、なかなかされなかつたお昼寝を、近頃されるようになった。

お昼寝といつても眠られる事は少なく、横にならえて体を休めていただく程度で、おしゃべりが殆ど。

中にはそれでもぐっすり寝られる方もある。

周りを簡単なもので間仕切りをし、ベッドは今はひとつなので男性が使用中で、女性は簡易畳の上に布団を敷き、そこに6名がすらすらと並んで寝られる。簡素で自由な空間がいいのか、とても楽しそうにされ、まるで修学旅行を思わせてほほえましい。

ミニデイならではのお昼休みでしょうか。

6月20日(木)晴れ 利用者さん・6名(男1女5) No.12

トドケで元気 #トド 園児さんと一緒に初めてのハンドベル

先々週から始まったリズムリハビリ。
まず3拍子のリズムから“ひらいて、トド、トン。
イチ、ニイ、サン。”を体で覚えてもらおうと手拍子でリズムをとる練習。これはうまくいきました。
しかし、3拍子の「ふるさと」を唄いだすと、せっかく覚えた手拍子が歌と合わず口と手がバラバラになる。でも、皆さん一生懸命で大きな声が出て、手も動いている。確かに良いリハビリだが、疲れ過ぎないように、そして楽しくすることが第一にと思う。皆さんもスタッフも大汗気味の午前中でした。
そのかわり、午後にはさわやかな音のプレゼントをいただいた。園児さんが、七夕祭りのお遊戯、ハンドベル演奏を披露下さった。一人一人がちゃんと自分のパートを覚えていてメロディーをこなす。
月5日どうやって覚えたの、すごいねー」感心ひとしきり。お年寄りも一緒にハンドベルをお借りし合奏です。園児さんの手の動きをじっと見ていて同時にベルを下からすくうように振り上げる。
いよいよ音が出ました。“拍手”園児さんに感謝！
7月のデイサービスは4日(木)と18日(木)です

◆◆お知らせ◆◆

平成8年度愛知県住民参加型
在宅福祉サービス開発会議

下記の要領でセミナーが行われます。
これまでの住民参加型活動の成果と課題を研究討議し、今後の団体の在り方について考えます。

日時・平成8年7月8日(月)
午前10時30分～午後3時30分

会場・愛知県社会福祉会館 3階
主催・愛知県社会福祉協議会

費用・1,000円

内容・(午前)パネルディスカッション
「安心して暮らせるまちづくりをめざして」
住民参加型在宅福祉サービスの現状
(午後)グループ討議と全体会
①担い手の確保と資質の向上
②時間預託制の在り方
③サービスのコーディネートと連携の強化

フォーラム

みんなで語る問題やりのよ

希薄になりつつある地域社会での「人と人の絆」「思いやりの心」について、いろんな世代の人達と語りあおうと、下記の要領で市民フォーラムが開かれます。

日時・平成8年7月10日(水)
午後6時30分～8時30分

会場・一宮地場産業
主催・一宮青年会議所

内容・パネルディスカッションと
グループ討議・全体会

◆パネラーとして当センターも参加
します。皆様多数ご参加下さい。

このところ、市外の方から比較的若い方への支援の相談が続いた。市内ではない為、ワーカーさんの手当がつくかどうか思案している。依頼されてきたご本人は、本当に途方に暮れておられる。情報提供をしながら一緒にどうしたらいいかを話し合っていくうちにかなり落ち着かれる。この方のような年齢制限で高齢者福祉の対象にならない事例は多いと想像される。相談だけの電話が結構多いのも最近の特徴。これは情報が不足していくて的確な判断が出来ない。初めてのことでもどうしたらいいか分からないという方が多い。

公的介護保険が今後どうなっていくのか。審議の焦点のひとつでもあつた、介護保険適用年齢の問題や住むところによつて受けられるサービスの格差が問題になつていつたが、この事例はまさしくその課題そのものです。どんな状況になつていても普通に暮らせる街が必要です。

感想
この度、Iさんから会へ寄せたいたしました。ミニサービスの備品購入に使われていただいたいと思つてます。ありがとうございます。

- ① 妻(五十一歳)が倒れた
・これ以上回復の見込みがなく退院を言われている
- ・成長盛りの子供を抱えて
ヘルパー派遣は受けられる
が、週二回で一回二時間が
基準とか。
- ・これで、どう在宅で介護していくのか

- ② 働き盛りの夫が倒れた
・痴呆徘徊精神不安定で
一人に出来ない
・高齢者ではないがティ
ケアに通所
・経済的に困つてきていい
るので、妻が働きたい
・デイケア以外の時間帯
及び曜日の支援依頼

5月活動状況

活動件数	20件
活動人数	25人
活動時間	287時間

5月会員登録状況

協力会員	39人
利用会員	37人
賛助会員	110人
計	186人

五十歳代への支援依頼

